

3つのポリシー策定の基本方針

岐阜聖徳学園大学大学、岐阜聖徳学園大学短期大学部、岐阜聖徳学園大学大学院（以下「本学」という。）は、卒業の認定に関する方針（以下「ディプロマ・ポリシー」という。）、教育課程の編成及び実施に関する方針（以下「カリキュラム・ポリシー」という。）及び入学者の受入れに関する方針（以下「アドミッション・ポリシー」という。）の3つのポリシーを策定するうえでの全学的な基本方針を次のように定める。

1 策定方針

- (1) 3つのポリシーは、本学の建学の精神を具体的に表す「以和為貴」「平等」「寛容」「利他」を基本として、大乘仏教の精神を体得する人格の形成を目指すために策定することとし、学則及び大学院規則に定める人材育成の目的を反映すること。
- (2) 3つのポリシーを通して、本学における教育内容・方法を、本学学生及び教職員始め本学に関心を持つ様々なステークホルダーに広く周知するため、十分に理解できるよう、より具体的に分かりやすい文章で表現すること。
- (3) 3つのポリシーを本学の教育活動の基本とし、教育の質向上に係る自己点検・評価活動及び内部質保証推進の根幹となるものと位置付けること。

2 3つのポリシーの位置づけと相互の関係

- (1) ディプロマ・ポリシーは、本学の建学の精神並びに人材養成及び教育研究上の目的（教育目標）に基づく教育の成果として、卒業を認定し、学位を授与するにあたり、学生が身に付けておくべき資質・能力を具体的に示すための基本方針である。
- (2) カリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーに定めた資質・能力（学修成果）を学生が身に付けるうえで、必要な教育課程（カリキュラム）を編成し、実施するための基本方針である。
- (3) アドミッション・ポリシーは、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、人材育成の目的の実現に向けて、入学者に求める能力や、入学者の受け入れ方法を示すための基本方針である。

これら3つのポリシーは、互いに連関しあうものとして、本学の人材育成の目的の実現に向け、学生の入学から卒業までの一貫した教育活動を実施するうえでの基本方針である。

3 策定単位

(1) 大学・短期大学部・大学院

学部・学科（課程含む）・専攻によらず、本学の学生すべてに共通する内容は、全体の3つのポリシーとして定めること。

(2) 学部（学科及び課程含む）・研究科（専攻）

各学部・研究科における3つのポリシーは、学部（学科及び課程含む）・研究科（専攻）ごとに定めること。ただし、各専攻の3つのポリシーは、修士課程、博士課程（前期）、及び博士課程（後期）について、それぞれ定めること。